

森林減少ゼロに貢献する グローバル・サプライチェーンの 推進に関する国際シンポジウム

～持続可能な開発目標 (SDGs)、生物多様性愛知目標の達成の鍵となる
民間セクターによる森林保全への挑戦～

写真提供: 森林総合研究所

世界の森林面積は依然として減少傾向が続いており、その原因の8割は食料増産を目的とする農地開発によるものとされています。森林減少は温室効果ガスの排出による地球温暖化、生物多様性の損失をはじめ、環境、社会、経済的に様々な負の影響を与えるものとして、その抑止が国際社会の重要な課題となっています。

このような中、近年、森林減少を伴わない形で生産されたパーム油、大豆、牛肉、紙パルプ等の商品作物をサプライ・チェーンの中で取り扱う「ゼロ・デフォレステーション」の取組が国際的に広がりつつあります。2014年9月の国連気候サミットでは、政府や国際企業、NGOを含む190の団体が「森林に関するニューヨーク宣言」に署名し、食料安全保障の強化と同時に世界の森林喪失を減速、停止、反転させるというビジョンが共有されました。

本シンポジウムでは、このような国際的なゼロ・デフォレステーションの取組の進展状況について、我が国関係者の理解を深めるとともに、商品作物のサプライ・チェーンに関わる事業者の環境に配慮した調達等、森林減少の抑止に貢献できる取組を推進するため、国内外から関係者を招いて議論を行います。

日時

2018年1月23日(火) - 24日(水)

1月23日(火) 10:00 ~ 17:15 24日(水) 10:00 ~ 17:00 両日ともに開場・受付開始9:30~

会場

三田共用会議所(東京都港区三田2-1-8)

定員

国際シンポジウム:両日ともに250名

使用言語

日本語/英語(同時通訳)

申込方法

お申込みはWEBから

<https://www.omc.co.jp/maffsymposium2018/input.html>

問合せ先 ▶ 「森林減少ゼロに貢献するグローバルサプライチェーンの推進に関する国際シンポジウム」運営事務局
株式会社オーエムシー内 担当:鈴木、徳丸

TEL:03-5362-0117 Email:maffsymposium2018@omc.co.jp

主催・後援

主催:林野庁(担当:計画課海外林業協力室)
協力:国連食糧農業機関(FAO)、国際熱帯木材機関(ITTO)
後援:外務省他

会場地図 三田共用会議所(東京都港区三田2-1-8)

アクセス ▶

東京メトロ南北線／都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅下車 徒歩5分(2番出口)
JR田町駅／都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅下車 徒歩20分／車7分



プログラム (※随時更新予定)

■ 1日目 2018年1月23日(火)

9:30 開場、受付開始

10:00-10:20 開会挨拶 等

10:20-12:30 オープニングセッション
国連食糧農業機関(FAO) 等(このほか調整中)

14:00-15:40 セッション1:グッドプラクティスの共有
味の素株式会社
日本製紙連合会
スターバックスコーヒージャパン 等(このほか調整中)

16:00-17:15 パネルディスカッション
【モデレーター】 ゲルハルト・ディターレ 国際熱帯木材機関(ITTO)事務局長

17:30- レセプション(招待者のみ)

■ 2日目 2018年1月24日(水)

9:30 開場、受付開始

10:00-12:20 セッション2:森林減少ゼロに向けた今後の取組方向
積水ハウス株式会社
花王株式会社
マレーシア プランテーション産業・商品省
ワイルド・アジア
グローバル・キャノピー・プログラム 等(このほか調整中)

14:00-14:40 イオン株式会社
株式会社レスポンスアビリティ

14:40-15:45 パネルディスカッション
【モデレーター】 末松 広行 経済産業省 産業技術環境局長

16:15-17:00 セッション3:全体討論